



# 三和新報

THE SANWASHIMPO

第326號 (昭和29年6月17日第三種郵便物認可)

日刊(日曜・祝・祭日を除く) 師範料 1カ月 50円

5月26日

(木曜日)

発行所  
三和新報社  
平市六丁目  
電472番

きものと帶の御用命は

谷かみや

平市二丁目電256

## 特別失効ワク四百

六月上旬から平土監で

ふえる失業者に福音

建設者が初めての試みとして六月上旬から実施する特別失効事業の就労ワクは本県に大賀町で行われるが、このうち三百乃至四百人が平土監督所管内に廻されることが予想される。特別失効事業とは全然別なった。特別失効事業は炭鉱失業者救済の緊急失効事業とは全然別である。高度の作業能率をあげるのが目的であり従つて事業に要する資材

建設者が

は自分の四分の一が事務費労力費

の二分の一が運賃だ。就労資金も三百六十円乃至三百七十五円

が支払われる。就労紹介は平土監

が資金の高いのが魅力となって

就労者がドツと押しかけるものと

される。就労紹介は平土監

が資金の高いのが魅力となって

就労者がドツと押しかけるものと

される。就労紹介は平土監</

## 教科書選定は県の意志

### 近く平一小で展示会

県下の中学校で使つた11年度の教科書は、いよいよ選定審議会を設けて選定が決った。選定委員は県教委と県地政課連絡委員会の一大名門選定が、平市教務長一人に指された。全国の出版社から出呈された教科書の展示会は、県として選定教科書を示しておらず、選定は各校の自主性にまかせられる。

選定は各校の自主性にまかせる。

ところの方針を打ち出してい

るが、石城地区地政課連絡協議会

は十四日平一小でひらき、合併

を決めて、会議に新家芳美(平三)

が、選定は各校の自主性にまかせら

れる。

水キキンからやつと解放

され、

常州市藤原部落ではこのほど平賀

の二千戸で簡易水道が施設された

決されたと見んでいる。二十五日

は毎年夏祭りになると河水が流れ

るばかりでなく伝染病のまんえん

におびやかされてきた。

藤原部落に水道

は、

常州市藤原部落ではこのほど平賀

の二千戸で簡易水道が施設された

決されたと見ている。二十五日

は毎年夏祭りになると河水が流れ

るばかりでなく伝染病のまんえん

におびやかされてきた。

藤原部落に水道